



東陽の旋風^{かぜ} ～自律貢献～

令和6年2月22日（木）No 40 発行
文責：松本 卓也

「いろいろな性」とともに生きる ～性教育講演会～

16日（金）、性教育講演会を開催しました。講師は、全国性教育研究団体連絡協議会常任理事（ともに拓く LGBTQ+の会 くまもと代表）の I 様です。「性的マイノリティって知っていますか～「いろいろな性」とともに生きる～」と題して、「性的マイノリティの当事者の皆さんはあなたの周囲でともに生活しています」「トランスジェンダー当事者にとっては『このころの性』がその人の性別です」「精神的な病気でも人格的な異常でもない」「LGBTQ+は『性の多様性』の問題です」等、性的マイノリティの問題を正しく理解すること、私たちの中にある偏見や差別をなくしていくことが大切であることを話していただきました。子どもたちの感想には、



- 全性愛という言葉を知って、どんな性別でも好きになれるって素敵だなと思いました。【1年】
- 一番気をつけたいと思ったのは、ピアプレッシャー（同調圧力）です。友達から相談されたりしたときに、無責任なことは言わないと思いました。【1年】
- 男性が男性を好きになったり、女性が女性を好きになるのは、少しだけ変だと思っていました。生まれつきそういう感情を持っていることを知り、偏見をもつてはいけないと思いました。【2年】
- 性は「グラデーション」という言葉が印象に残りました。決めつけなどには気をつけていきたいです。【3年】



とあり、一人一人の多様性や違いを認め合うことの大切さを改めて感じていました。全国性教育研究団体連絡協議会常任理事（ともに拓く LGBTQ+の会 くまもと代表）の I 様、お忙しい中、貴重なお話をありがとうございました。



今の自分を振り返り、自己の生き方を真剣に考える ～2年立志式～

16日（金）、立志式を行いました。立志式の目的は、

- ・今の自分を振り返り、自己の生き方を真剣に考える機会とする。
- ・3年の進路選択を前に、将来への目標を持ち主体的に進路を拓いていこうとする態度を育てる。
- ・将来への考えや思いから、ともに学び合い高め合う集団を目指す。



であり、橋本左内が15歳のときに書いた「啓発録」にならい、最上級生への進級を控えた2年生で行っています。小学校1年生の頃の写真と現在の写真の前に立ち、「介護士等の人をサポートできる大人になりたい」「父に勧められた騎手になりたい」「兄のように格好いい料理人になりたい」「救命救急士のような人を助ける仕事をしたい」等、5年後、10年後を見据えた未来の自分を語ってくれました。また、なりたい自分になるために、「自分にできることは自分でやる」「陸上でよい結果を残すためにも、規則正しい生活習慣を身につける」等、これから努力すべきことも表明してくれました。さらに、「感謝の一環として、家族の髪を最初に切りたい」「反抗期が多いけれど、心の中では感謝しています」等、これまで支えてくださった家族への感謝の思いを口にすると、生徒、もいました。保護者の Y 様からは「悩んだり迷ったりしたときは、話してもらえると、一緒になって考えます。何でも話してください。」と愛情溢れるメッセージをいただきました。勇気を出して言葉にする生徒、仲間の思いをしっかりと受け止める生徒、見守る保護者の方々・・・、とても温かな雰囲気教室が包まれました。素晴らしい立志式をありがとうございました。

※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）